メルカリの教育に関する取り組み

2020/11/05

mercari

会社概要

メルカリグループは、株式会社メルカリと、その連結子会社で構成されています。

株式会社メルカリ

設立 2013年2月1日

資本金 69.587百万円(資本準備金含む) 事業内容 スマートフォン向けフリマアプリ

「メルカリ」の企画・開発・運営

代表者 山田進太郎

所在地 〒106-6118 東京都港区六本木

6-10-1

六本木ヒルズ森タワー

拠点 東京、仙台、福岡



株式会社メルペイ

設立 2017年11月20日 事業内容 金融関連の新規事業 代表者 青柳直樹 所在地

〒106-6143 東京都港区六本木6-10-1

六本木ヒルズ森タワー



Mercari, Inc. (US)

設立 事業内容 代表者 所在地

設立

事業内容

代表者

所在地

2014年1月 US版メルカリの企画・開発・運営

John Lagerling 1. Palo Alto, California 2. Portland, Oregon

3. Boston (Cambridge), Massachusetts



株式会社 鹿島アントラーズ・エフ・ 1991年10月1日 フットボールクラブ運営 小泉文明

茨城県立カシマサッカースタジアム指定管理 茨城県鹿嶋市粟生東山2887番地





メルカリとは







フリマアプリ「メルカリ」は、個人が簡単に不用になった物の売買を 行えるCtoCマーケットプレイスです。

出品者・購入者双方が、安全・安心な取引を楽しんでいただけるサービスを目指し、「メルカリ」が一時的に購入代金を預かるエスクロー決済を活用した取引環境の整備や、簡単かつ手頃な価格の配送オプションなどユニークなお客さま体験を提供しています。

●サービス開始日:2013年7月

●対応OS:Android、iOS

※Webブラウザからも利用可能

●利用料:無料

※売れたときの手数料:販売価格の0%

●対応地域・言語:日本・日本語基本仕様

多くの出品者は、自分にとって必要でなくなったモノがそれを必要とする人に購入され使われる喜びを楽しみ、購入者は、多彩かつユニークな商品の中から「宝探し」感覚で掘り出し物を見つける買い物体験を楽しんでいます。

さらに「メルカリ」では、物の売買だけではなく、出品者・購入者間のチャットや「いいね!」機能を通じて、お客さま間のコミュニケーションも活発に行われています。



メルペイとは

株式会社メルカリのグループ会社である 株式会社メルペイが運営するスマホ決済サービスです。

使わなくなったものをメルカリで売って得た売上金や、銀行口座からチャージしたお金を「メルカリ」やお店でのお支払いにご利用頂けます。









メルカリの創業ストーリー



↑創業者の山田進太郎。世界旅行で旅したインドのガンジス川にて。

山田進太郎は世界旅行中に、豊かになろうと努力をしているのに、教育を受けられずにいる子供や、生き方を制限されてしまう人々がいる現状を目の当たりに。

これから世界が発展していく中で、限られた資源はますます逼迫していく。どうすれば解決できるのか?

帰国後、猛烈なスピードで普及していたのはスマホ。

スマホを通じて世界中の個人と個人をつなげ、資源を流通 させることができたら、誰もがもっと豊かな暮らしができるよ うになるかもしれない。

そんな思いで、創業したのがメルカリ。



メルカリのサステナビリティ

メルカリではESGとして重点的に取り組むべき5つのマテリアリティを特定し、 取り組んでいます。



企業活動全体を支える ガバナンス 組織力を最大化し、攻めと守りをバランスさせる経営基盤としてのガバナンス強化



メルカリのこれまでの教育関連の取り組み



これまでの教育関連の取組

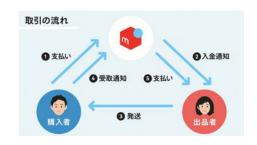
- ①「フリマアプリの安心・安全な利用方法」を考える教育プログラム
- ②消費生活センター研修会(相談員向け・市民向け)
- ③啓発リーフレット「あんしんあんぜんガイド」の制作・配布
- ④フリマアプリの取引体験から学ぶ問題解決型授業(PBLプログラム)
- ⑤20年後の価値交換を考えるプログラム
- ⑥「循環型社会を学ぶ」学童教室向け授業
- ⑦「メルカリ体験教育」プログラムの開発及び展開
- 8金融経済教育(企画検討中)



①「フリマアプリの安心・安全な利用方法」を考える教育プログラム

青少年や保護者・教員等を対象に、フリマアプリをはじめとするCtoCサービスの仕組みやトラブルに巻き込まれないための方法・事例を伝え、安心安全な利用方法を主体的に考えながら学んでいただける教育プログラムを提供しています。





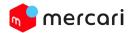


動画教材では、青少年がフリマアプリを利用するシーンのなかに、安心安全な利用について考えるヒントが登場します。 受講者は動画を見ながら「どこに問題があるのか」「どうすればいいのか」を主体的に考え、グループで話し合った上で意見を発表をします。まとめとしてファシリテーターからスライドを用いた解説を行います。

また、振り返りの際にもご利用いただけるリーフレットも提供しています。

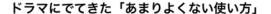
※教材はこちらのページで公開しています。

https://about.mercari.com/sustainability/culture-and-education/safe-secure/



①「フリマアプリの安心・安全な利用方法」を考える教育プログラム





- 保護者に確認をせずに、Tシャツやカメラを出品していた
- 文字だけで伝わると思って、シミのある写真をのせなかった
- 風邪薬を出品していた
- スニーカーを他のサイトで買おうとしていた
- ていねいなコミュニケーションがとれていなかった
- とどいた商品を確認する前に、受取評価をしていた







①「フリマアプリの安心・安全な利用方法」を考える教育プログラム

各地の教育委員会と連携した取組を実施しています。

- 東京都教育庁
 - 「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」として、都立高校向けに出前・オンライン授業のプログラムを提供しています。
 - 「ネット時代の消費者教育ー安心安全なフリマアプリの利用を通して」
- 神奈川県教育委員会
 - 県立高校生学習活動コンソーシアムのプログラムとして、 県立高校向けに出前授業を提供しています。

教職員向け研修の実績

● 神奈川県、岐阜市、奈良市、那珂市、東大和市、帯広市など



②消費生活センター研修会(相談員向け・市民向け)

消費生活センターが主催する研修会にて、フリマアプリを安心安全に利用するための方法やメルカリの取組説明を実施しています。





2019年度実績

- 相談員向けの研修会を神奈川県・埼玉県・千葉県等で実施
- 区市民向けのセミナーを練馬区・神戸市等で実施
- 国民生活センターにて職員研修会を実施



③啓発リーフレット「あんしんあんぜんガイド」の制作・配布

お客さまにフリマアプリのあんしん・あんぜんな利用方法を確認していただけるように、アプリ内だけではなく、実際に手にとって内容を確認することのできる、啓発リーフレットを制作し、配布しています。

操作にお困りのお客さまが「メルカリガイド」や「お問い合わせ」へアクセスをしやすいように、操作画面の画像やリンク先へのQRコードも記載しています。





消費生活センターの窓口への設置や啓発イベント会場での配布以外にも、消費生活センターが実施するフリマアプリなどのCtoCサービスに関する消費者教育の副教材としても広くご活用いただいております。



③啓発リーフレット「あんしんあんぜんガイド」の制作・配布







④フリマアプリの取引体験から学ぶ問題解決型授業(PBLプログラム)

「フリマアプリの取引体験から学ぶ問題解決型授業」として、 メルカリがタブレット端末を無償で貸与し、実際にメルカリを使った体験と課題解決型のグ ループワークを通じて、循環型社会の理解とリユース意識を醸成するプログラムを実施し ています。







これまでに熊本市立千原台高等学校や都内の私立学校にて授業を実施しました。



⑤20年後の価値交換を考えるプログラム

メルカリと学校法人角川ドワンゴ学園 N高等学校は、N高通学コース課題解決型学習「プロジェクトN」の授業にて、未来の価値交換を支えるビジネスやサービスを創造する「Project 2040 – 20年後の価値交換を考える」を実施しました。







メルカリ・価値交換を題材として、「環境・社会課題に関心を持ち、自ら解決策を提案し、行動するようになる」ことを目的とし、全国各地の約150名の生徒とZoomで繋ぎ授業を実施しました。

本授業は、メルカリの研究開発組織「mercari R4D」と東京大学インクルーシブ工学連携研究機構の共同研究テーマである「価値交換工学」を背景に企画しています。



⑥「循環型社会を学ぶ」学童教室向け授業

各地の学童保育に通う子どもたちにフリマアプリを題材として循環型社会を学ぶオンライン授業の提供を行っています。



まつぼっくりはどんなひとが 買っているでしょう?

①つりびと (えさ)

②クリスマスのかざりつけしたい人

③しいくいんさん (カンガルーのえさ)



実際にメルカリで取引をされたものを例にあげ、一見「不要なもの」と考えられがちなものでも、他の人からは必要とされることがあるということ。そしてそれはどんな人に必要とされていたのかをクイズ形式で考えていくことで「ものとお金の大切さ」を学習できるものになっています。

また、オリジナルのカードを用いた体験型のゲーミフィケーションを通じて循環型社会を学ぶコンテンツを制作し、小学校でテスト授業も行なっております。



⑦「メルカリ体験教育~ものとお金の価値を学ぶ」教育プログラム

メルカリを通じて、実践的にものとお金の価値を学ぶ小学生向けのプログラムを作成・展開しています。

メルカリアプリと「メルカリかんさつ帳」を使いながら、ものの価値をさまざまな視点から考えながら親子でメルカリの出品を疑似的に体験することで、利益の仕組みなどお金の価値を学ぶことができます。







「メルカリかんさつ帳」とは、お子さまが、使わなくなったものなどを実際にメルカリに出品することを想定し、その価値をどう次の方につないでいくかを考えながら、ひとつ ひとつの「もちもの」について記録をしていくワークブックです。 オンライン・オフライン問わず、ワークショップを開催しています。

※かんさつ帳のPDFデータはこちらのページで公開しています。

https://about.mercari.com/sustainability/culture-and-education/worth/

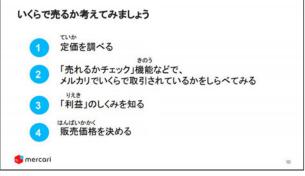


⑦「メルカリ体験教育~ものとお金の価値を学ぶ」教育プログラム

メルカリかんさつ帳を用いたワークショップ











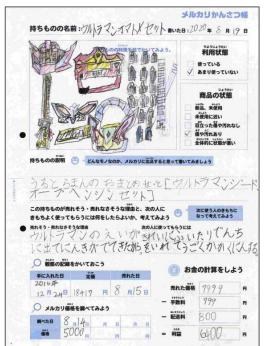


⑦「メルカリ体験教育~ものとお金の価値を学ぶ」教育プログラム

「メルカリかんさつ帳コンクール」を開催



表彰作品はこちらからご確認いただけます。 https://pj.mercari.com/challenge/2020/







⑧金融経済教育(企画検討中)

キャッシュレス決済の基本的な仕組みや、「見えないお金」の使い方に関する課題等についてを学べるプログラムを企画しています。



「メルペイ」は株式会社メルペイが運営するスマホ決済サービスです。 使わなくなったものをメルカリで売って得た売上金や、銀行口座からチャージしたお金等を 利用して、「メルカリ」やメルペイ加盟店でのお支払いに利用可能です。今後は新しい「信 用」を軸にしたサービス展開予定です。



